

夏休み！

小学生ボランティア体験

報告書

参加者20名(Aコース15名・Bコース5名)



今回の小学生ボランティア体験は市内の小学校4・5・6年生を対象にAコース・Bコースに分かれ、7月30日、31日、8月1日に開催しました。

Aコース：EMの会（環境団体）の活動体験
Bコース：九十九荘での作業体験

7月30日【A・Bコース共通・1日目】

□8:40 集合 福祉センター2階大会議室

□9:00～9:20 オリエンテーション

- ・内容の説明
- ・自己紹介（学校と名前）
- ・班分け発表

オリエンテーションでは、講座の内容・日程を確認。自己紹介を行い、さっそく高齢者・障がい者の疑似体験へ！



オリエンテーションの様子

高齢者・障がい者疑似体験



車イス体験

□9:20～10:40 ボランティア学習
・高齢者、障がい者疑似体験

介護士の加藤先生・ボランティアセンターの長谷さん・小沼さんに加え、多くの方々に車いすの使い方を教えていただきました！

車いす体験では、障害物に見立てたマットは、1人では上がれないことが分かりました。

高齢者・障がい者疑似体験



白杖を使った体験

器具を装着して、ひざや腰が伸びず、いつものようには動けないため、階段やちょっとした段差でも注意が必要です。前のまったく見えないメガネや白杖を使い、視覚障がい者の体験もしました。



□10:50～12:30

ボランティア団体の活動体験

【Aコース】

- ペットボトル花瓶工作
- 絵手紙作り



絵手紙作り



絵手紙サークルつくしんぼのみなさんに絵手紙づくりを教わりました。つくしんぼのみなさんは、高齢者の家に食事を配達する際に、絵手紙でメッセージカードを添えるボランティアをしています。

ペットボトル花瓶工作

ごみの減量化や、芸術振興の活動をしている、MOAイキキワクワク健康生活ネットワーク富里のみなさんに、ペットボトルや牛乳パックを使った花瓶工作を教わりました。
最後に自分の好きな花を選んで完成！



【Bコース】

- 絵手紙作り
- 手話ダンス

絵手紙作り



手話ダンスの練習

手話ダンスを教えてくれるのは、高齢者福祉施設で、手話ダンスを披露しているタンポポ2のみなさん。

4.5分という短い時間の中、子ども達はあっという間にダンスを覚えてしまいました！



7月31日【Aコース・2日目】

EMの会(環境団体)の活動体験

□8:40 集合

福祉センター1階機能回復訓練室

□9:00~12:00 作業体験(EMの会)

- 生ごみ資源化の授業
- EMボカシづくり
- EM発酵液づくり



EMの会の齊藤先生・久高先生には環境の授業をしていただきました。

EMの会は、EM菌を使って生ごみを資源化する活動や、環境に対する啓蒙活動をしています。

最初にEM菌の働きや、効果・生ごみの資源化に関する授業を受けました。

EMボカシ作り



米ぬか・もみがら・EM菌を混ぜて、EMボカシ作りをしました。..
ボカシは、実際に子ども達が持ってきた生ごみに混ぜてみました。..
土に返すと、生ごみがなくなり、野菜が育ちやすい、土壌になります。..
作業体験は、集中しつつ、楽しんで作業ができました！



米のとぎ汁EM発酵液作り

EM発酵液は、油汚れにも使え、布団に使うと布団がふわふわになるそうです。..
その他、様々な使い道があります！



体験のまとめ

□13:00～15:00 体験のまとめ



2日間の感想をみんなで共有し、2班に分かれて模造紙に「体験のまとめ」を作成しました！



8月1日【Bコース・2日目】

□8:40 福祉センター集合
九十九荘へ移動



シーツ交換の様子

□9:00～11:30 作業体験（九十九荘）

- ・シーツ交換
- ・手話ダンス披露

九十九荘の鈴木先生から、シーツ交換のやり方・注意点を教わり、2班に分かれて作業しました。最初はぎこちなかったシーツ交換でしたが、終わるころには、かなり上達しました！



手話ダンス披露

タンポポ2のみなさんと手話ダンスを披露しました。

おじいちゃん・おばあちゃんからはアンコールの声！

手話ダンスのあとは、レクリエーションと一緒に参加しました。



体験のまとめ

□13:00~15:00 体験のまとめ

B班は5人で1つの作品を作成しました。

人数の少ない中、がんばって完成させました！



体験をした感想

【Aコース】

1. 楽しかったこと

- 花をいけたこと、ペットボトルの花瓶工作、絵手紙作り。
- かびんこうさくがたのしかった。
- 花植えをしたこと。
- ペットボトル花びん工作、絵手紙作りが楽しかった。
- 1日目は花をいけたことと絵手紙を書いたこと。
- ペットボトル花びん工作ですきな花を生けたりしたこと。
- 車いすのこと。絵手紙をかいたこと。花をいけたこと。ボカシをつくったこと。とぎ汁の物をつくったこと。
- 絵手紙の絵を書いたこと。
- MOAイキイキワクワク健康生活ネットワーク富里さんに教わったペットボトル花瓶工作。
- 絵手紙でトマトを書いたことが楽しかった。トマトをそのあとでたべておいしかった。
- 絵手紙ですみのつけ具合や色づかいで少しむずかしかったけど、とても楽しかった。
- オアシスに花をさしたこと、絵手紙でトマトを書いたこと。
- 牛乳パックでつくったかびんとそのかびんにさす花をつくったのは、初めてだったから楽しかった。
- 牛乳パックで作ったかびんは、かんたんに作れてよかったです。そこにかざりにリボンをつけたりしてすごく楽しかったです。

2. 大変だったこと

- EMボカシづくり，EM発酵液づくり。
- 大変だったことは絵手紙づくりで，ピーマンの絵をかいたあとの色ぬりが大変だった！
- ボカシを作ったこと。
- 生ごみしげん化のじゅ業，EMボカシ作り，EM発こうえき作り。ボカシがくさくて大変だった。
- ボカシを作ったこと。
- EMボカシ作りと，EM発酵液づくりがくさかった。
- ぼかしのまぜること。めかくしのやつ。耳につけるやつ。車いすの左だけでやったやつ。絵手紙のピーマンの絵。
- 生け花づくり。
- EMの会さんに教わったEMボカシづくり。
- 高れい者ぎじ体験の時に，車イスにのったりして，とても大変でした。
- 疑似体験で目や耳の不自由な人の気持ちがなんとなく分かった。車いすでは，車いすのそっとうさがむずかしかった。
- 生け花作りで，どうやったら色のバランスがよくなるか分からなかったから大変だった。
- EMボカシづくり。
- 高れいしゃの体験で目を見えなくしたり，耳をきこえなくしたりしてすごく大変でした。
- 絵手紙の絵を書いたこと。EMボカシ作り。

3. 勉強になったこと

- EMボカシづくり。EMはっこう液づくり。くるまいすのしまい方。
- 勉強になったことは、おとしよりのたいへんさが勉強になった。
- EMはっこうえきをつくったこと
- いつもはすてている米のとき汁を使ってEM発こうえきを作れること。
- EM発酵液をつくったこと
- おふろがなんばい分でさかながすめるかがべんきょうになった。
- めかくしのやつでおじいさん、おばあさんたちもしんどいんだなと思った。なまごみが宝だとわかった。
- EMのつくり方。
- EMの会さんに教わった生ごみ資源化の授業。
- EMボカシでボカシを作ったりして、とても勉強になりました。
- EMボカシ作りで、とても手間がかかっていることが勉強になった。
- EMのボカシ作りと、EMの発こうえきづくりが勉強になった。
- EMやボカシでふとんがふかふかになるとか野菜が育つとかが、勉強になった。
- EMやボカシを作ったこと。
- EM発酵液とEMボカシで環境を良くできること。

4. 今回初めて知ったこと、または家でもやってみたいこと

- 家でやってみたいことは、EMボカシづくり。アクリルたわしであらう。
- お家でやりたいことはこめのときじるをりょうしてくるまをあらってあげたいです。
- 車いすのつかいかた。
- くるまいすのおりたたみ方を知った。
- ボカシのつくりかたを初めて知った。
- ここにきてよかったことを初めてしった。こめじるをつくりたい。
- じいちゃん、ばあちゃんが病気になったとき、今回学んだことを生かしてかんびょうしたい。
- 車いすの乗り方とたたみ方。
- アクリルたわしをつかう。
- 生ごみをそのまますてないで、なにかに利用したいと思った。
- EMボカシ、発酵液があることがはじめて知った。
- 車いすの、のり方、しまい方が初めて知った。
- アクリルたわしをもらったから、それを使おうと思った。
- アクリルタワシを使ってみたいです。
- EM発酵液とEMボカシの作り方。花瓶をもっと作りたい。

【Bコース】

1. 楽しかったこと

- ・車いすに乗ったり、目、足、手首、首、耳の不自由な人になって階段を下りたりのぼったりして楽しかった。九十九荘で手話ダンスをおどったこと。
- ・手話が覚えられてうれしかったです。お年よりの人と体そうができて楽しかったです。
- ・手話でお年よりの人を喜ばせたし、自分できちんとできたのでよかったです。シーツがえをお兄ちゃんといっしょにできたのでよかったです。
- ・手話ダンスを上手に踊れた！絵手紙では、3枚の作品を作ることができた。高齢者とのふれあい。
- ・弟と協力してシーツがえができた。絵手紙をつくったときに、しっかりかくことができた。

2. 大変だったこと

- ・シーツ交換の時、上下のシーツが終わったら左右のシーツをいれる時、三角形にするのが大変でした。
- ・絵手紙作りの色を作るのがむずかしかったです。九十九そうへ行った時、シーツがえがとても大変でした。
- ・九十九荘でシーツがえをするのがとても大変で少しあせがでてきたけどきちんとできてよかったです。
- ・高齢者、障がい者ぎじ体験で、車いすを使ったり、高齢者になる体験をしてみて、障がい者の人を介ごしたりすること。
- ・シーツがえのとき、三角形を作るところがむずかしかった。手話ダンスで「笑いあり」と「ほほえめば」の手話が少しむずかしかった。

3. 勉強になったこと

- ・こうれい者の人たちが街中を歩いていて「大変そう…」ぐらいに思っていたけど、今は見つけたら声をかけてあげたいです。
- ・体が不自由な人が目が見えづらかったり、耳が聞こえづらかったりする事にびっくりしました。
- ・手話を教えてくれた人に手話は、耳の不自由な人のために手話はとても大切なことが勉強になりました。
- ・シーツ交かんの時、おったり、ぎじゅつを使うこと。高齢者と体そうをして、介ごの人は、元気じゃないといけない。
- ・シーツがえのとき大変な仕事で、それをいっしょうけん命がんばっている。にんちしょうの人に何回同じことを聞かれても、笑顔でこたえる。

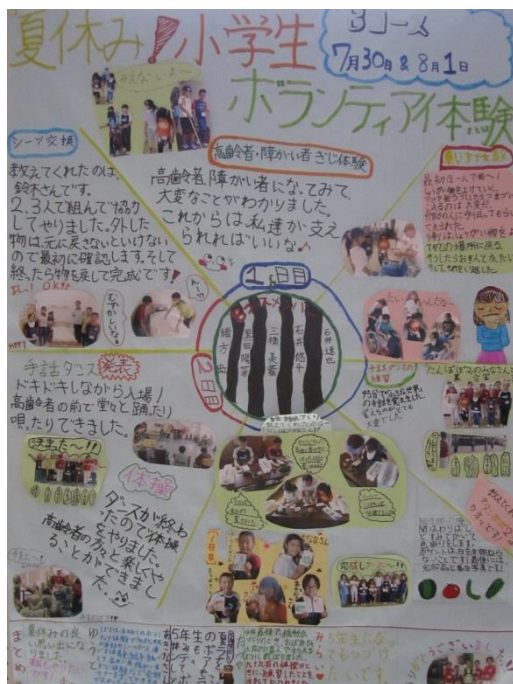
4. 誰かのためになる仕事をした感想

- ・こうれい者の人や体のさまざまな所をいためている人やお年よりをみかけたら、声をかけてあげたいです。
- ・5年生になったらまたいきたいなと思います。いろんなことがわかったのでおもしろかったです。
- ・お年よりの人のためにやるシーツがえや手話がとてもつかれたけどお年よりの人が喜んでくれたのでよかったです。
- ・最初は、私のゆめだった介ごせつに入れてうれしい！だけだったけど、後の方からは、こういうことをすれば高齢者の方がよろこんでくれるんだな、というように思いました。
- ・そういうことをしてみて、お年寄りの人は喜んでくれるのかなと思った。お年寄りの人に、しんせつにして、お礼をいつてくれた。

体験のまとめ



Aコースまとめ



Bコースまとめ

参加者：20人

(4年生7人, 5年生4人, 6年生9人)

- 富里小学校 7人
- 富里第一小学校 2人
- 富里南小学校 4人
- 日吉台小学校 2人
- 根木名小学校 1人
- 七栄小学校 4人

協力：
絵手紙サークルつくしんぼ
MOAイキイキワクワク健康生活ネットワーク富里
タンポポ2
EMの会
社会福祉法人清郷会（九十九荘）
富里市社会福祉協議会
富里市ボランティアセンター

問合わせ：市民活動推進課市民協働推進班
電話：0476(93)1117
メール：kyodo@city.tomisato.lg.jp